

請 願 第 1 号

令和5年6月9日

阿久根市議会議長 仮屋園 一 徳

請願採択可否について

別紙請願に接したので、その採択可否について諮る。



第	1	号	受			
令和	5	年		5	月	30
請			願		付	

令和 5年 5月 30日

阿久根市議会議長

仮屋園一徳

様

請願者

阿久根市

動物保護施設24 代表 西田数市

紹介議員

竹之内和満

動物保護活動としての地域猫活動に対する公的支援に関する請願

(請願の趣旨)

日夜、市政発展のためご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨今、全国的に高齢者単身世帯のペットに飼育に関する問題が多く報道されています。単身高齢者家族が増加するなか、長期入院や施設に入所することにより、自ら飼育している犬や猫を手放さざる得ない状況があり、保健所に預ければ殺処分され、それ以外では近隣に不法に放たれており、動物愛護団体などでは全国的に大きな問題になっています。

阿久根市において犬の登録・未登録も合わせれば約 1,000 匹を超えと言われています。また、猫の場合は登録制度がなく、犬の約 4 倍飼われていると推定されます。

そのため、今般、営利を求めない形で、高齢者等が飼育するペットの一時保護や譲渡を目的とした動物保護施設を開設し、すでに出水保健所から許可を受けており、預かった犬や猫は当施設で適正に管理しています。

現在、特に地域猫活動を行っており、阿久根市内でも3箇所が活動を行っています。地域猫活動は、地域の有志が、地域住民の理解と協力を得た上で、野良猫の不妊去勢など、行政と協力し合って解決を目指すことにより、人と猫とが共生する地域づくりをしていくという考え方で、しかし、地域猫活動は主に猫を保護して、動物病院に連れて行き、不妊手術をしなければなりません。ただ北薩・川薩地区には協力する動物病院はなく、近くでも日置市の動物病院まで行かなければならず、それも月に5匹しか対応できません。鹿児島市の動物病院ならば月に30~40匹対応できますが、鹿児島市までの経費がかかるためボランティア活動をおこなう方々が少ないのが現状です。その結果、国が進める繁殖制限をするための地域猫活動の不妊手術事業が、なかなか前に進みません。

現在、鹿児島県内で独自に地域猫活動に対して補助や助成をおこなっている市町村は、13自治体あります。県においても補助制度がありますが、十分とは言えません。

そこで、人と猫とが共生する地域づくりを目指し、この地域猫活動を広げていくためにも、行政の公的支援が必要であり、以上の趣旨で請願します。

市議会におかれましては、地域猫活動や動物保護活動の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

(請願事項)

- 1 地域猫活動の実施団体に対して、手術経費・飼育管理経費等の公的支援を行うこと
2. 地域猫活動事業の実施団体を募集して活動を広げていくこと